

市民の皆さんも始められる取り組み

- フードロス(食べ残し)をなくす
- 育児や家事の分担を平等に分ける
- 家の電気をLED照明に買い替えて省エネ化する
- オンライン決済やキャッシュレス決済を活用する
- クールビズやウォームビズに取り組む
- 選挙などを通して積極的に市政に参加する
- 油污れは流さずに拭き取る
- SDGsに取り組む企業を応援する
- マイバッグやマイカップを使う
- 徒歩や自転車で、通勤・通学や買い物をする

市の主な取り組み

健康・医療分野

- 健康づくりの拠点整備事業
(仮称)伊勢崎市新保健センター・子育て世代包括支援センターの建設に向けて、設計委託などを進めます。

産業・観光分野

- 商店街の活性化促進事業
商店街組合などが実施するイベントなどの事業に対して補助金を交付します。

安心安全分野

- 地域防災力向上事業
各地区で自主防災組織訓練を行います。図上訓練を行うことで、地域の防災リーダーの育成に努めます。

教育分野

- 学校給食充実事業
郷土食や行事食などの献立を充実させ、より多くの市内産食材の使用を図ります。

協働・共生分野

- 男女平等教育と男女平等参画の啓発事業
市民関係団体との協働による講演会や研修会の開催、市ホームページによる情報提供などを通じて、学習機会の提供を行います。

市の取り組みの詳細は市ホームページで確認

SDGsへの市の取り組みは「第2次伊勢崎市総合計画後期基本計画」の実施計画に掲載しています。詳しくは市ホームページで確認してください



四ツ葉学園中等教育学校でSDGsに関する出前授業を行っています

四ツ葉学園中等教育学校は、民間企業から講師を招いてSDGsに関する出前授業を行っています。余った野菜などを活用してハンカチを染める「残り染め」や、家庭で使わない食品を集めて必要な人に届ける「フードドライブ」などを実施し、SDGsに関する理解を深めています。2年生の有志が集まった実行委員や、JRC・インターアクト部を中心にフードドライブ活動を継続して行うなど、生徒の皆さんも意欲的にSDGsの学習に取り組んでいます。



エス ディー ジー ス SDGsを知っていますか

SDGsは、2015年の国連サミットで採択された2030年への明確な国際目標です。市は、「第2次伊勢崎市総合計画後期基本計画」の実施計画をSDGsと連動させて、持続可能なまちづくりに向けた取り組みを行っています。SDGsの達成に貢献できるのは、行政や企業だけではなく、皆さんも今すべきことを考えて、身近にできることから始めてみましょう。

問い合わせ 企画調整課 ☎27-2707

SDGsとは？

SDGsは、世界中のみんなが安心して暮らし続けていくために、2030年までに達成するための「持続可能な開発目標」です。掲げられたのは貧困の根絶や気候変動への対策など下図にある17の目標。目標達成に向けて取り組む上で、地球上に生きる人を誰一人取り残さないことがSDGsの基本理念です。年齢や性別に関係なく全ての人へ向けた取り組みを行うことが、持続可能な世界の実現のために重要になります。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGsは、誰一人取り残さず、地球で安心して暮らし続けていくために、2030年までに達成するための「持続可能な開発目標」です